

令和5年度 常盤小学校 自己評価報告書

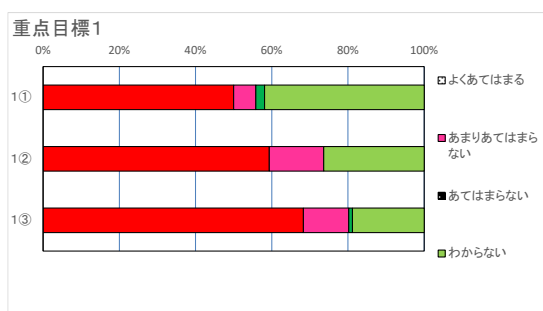
学校（園）名： 常盤小学校 所在地：中央区日本橋本石町4-4-26
 校（園）長名： 浮津 健史
 児童（生徒）数 315 学級数 12 教員数 19 職員数 31

1 重点目標の達成状況及び取組状況

重点目標1

◆確かな学力の向上 「基礎的・基本的な学力の定着」

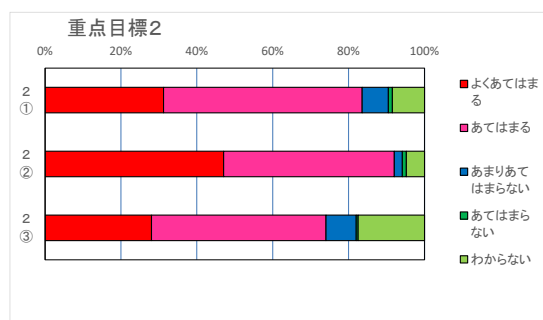
- ① 児童の実態をもとに、授業改善を行っている。
- ② 習熟度指導・少人数指導（算数）による基礎・基本が徹底されている。
- ③ 外部（大学・企業・地域等）との連携による授業づくりを行っている。



重点目標2

◆国際教育の充実「中央区国際教育推進パイロット校及び教育課程特例校としての取組」

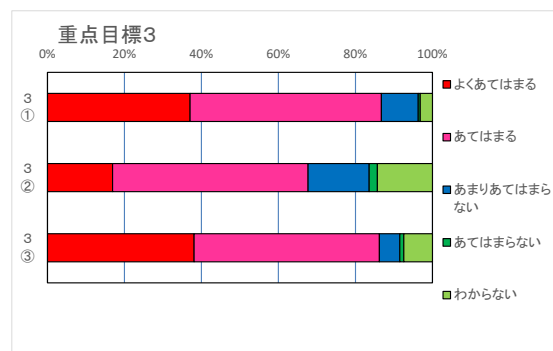
- ① 「聞く・話す・読む・書く」の英語授業を実践している。
- ② 日本の歴史や伝統文化（特に日本橋）の学習を充実させている。
- ③ オリンピック・パラリンピック教育推進校として国際交流を実践している。



重点目標3

◆豊かな心と体づくり 「特別な教科道徳や命と心の授業、人権標語づくり活動の充実」「マイスクールスポーツ（縄跳びなど）の取組」

- ① 毎日、明るく元気にあいさつできる習慣が身についている。
- ② マイスクールスポーツ（縄跳び等）を通して児童の体力を高めている。
- ③ 異学年交流活動等を通して、他者を思いやる心を育てている。



○どの項目もわからないの割合が、多い。これは、学校側からの説明不足や情報発信の不足だと考えられる。今後は、お便りやホームページ・保護者会等で教育活動について具体的に説明をするなど、情報発信を今まで以上に積極的に行ってまいります。

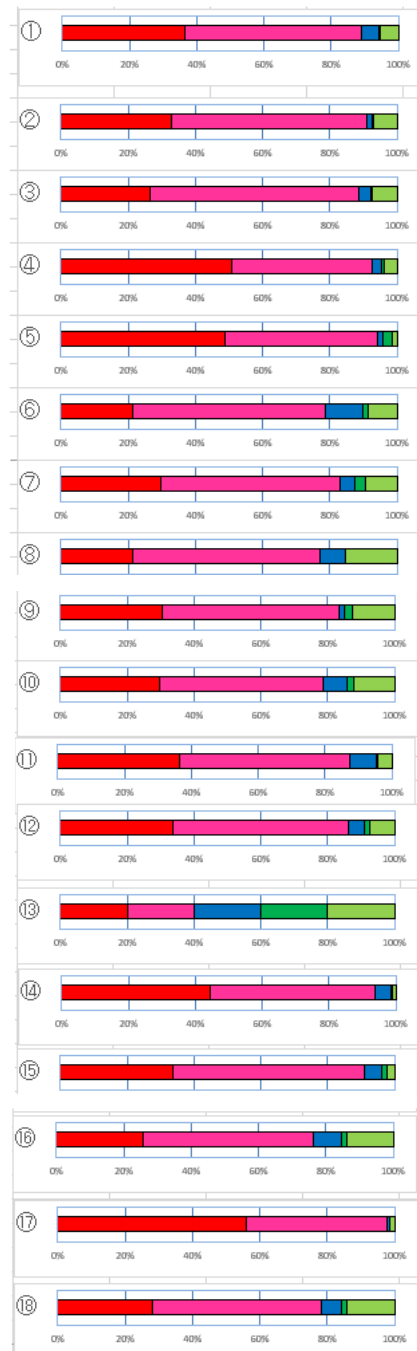
○「マイスクールスポーツ（縄跳び等）を通して児童の体力を高めている。」については、あてはまらない・あまりあてはまらないを合わせると20%ほどとなります。本校のマイスクールスポーツの縄跳び・ペースランニングの取組は、アンケート実施後だったた

め、この数字となったと考えました。今年度新しく取り組んだ縄跳びカード・ペースランニングカード等の記録を保護者に伝える活動とともに今後は、年間を通して、計画的にマイスクールスポーツに取組、児童の体力を高めるよう努めてまいります。

- 「毎日、明るく元気にあいさつできる習慣が身に付いている。」については、よくあてはまる・あてはまるを合わせると90%近くになっています。以前、保護者から「常盤の子の挨拶が減っているというご指摘がありました。教職員も今まで以上にあいさつへの指導に努め、あいさつできる習慣が身に付いている児童を称賛するなど日常的に意識してまいりました。今後も教職員自らがすすんであいさつするとともに代表委員会等のあいさつ運動を充実させてまいります。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

- ①学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている。
- ②学校は子どもに基礎学力が身に付くように教えている。
- ③学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している。
- ④学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。
- ⑤児童は明るく生き生きと学校生活を送っている。
- ⑥学校は児童の健康・体力の増進に努めている。
- ⑦学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。
- ⑧学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。
- ⑨学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で子どもの指導にあたっている。
- ⑩学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。
- ⑪学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。
- ⑫学校は保護者や地域の人が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。
- ⑬学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。
- ⑭学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている。
- ⑮学校は保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすく内容も適切である。
- ⑯学校はコンピュータや図書室を十分活用している。(各教科・国際理解・地域についての調べ学習、読書活動など)
- ⑰学校は地域を生かした教育活動や行事がある。(町探検・神田祭の学習・老舗学習・学生工房との日本橋の学習・金融授業など)
- ⑱保護者は学校の教育活動に積極的にかかわっている。



- 重点目標と同様にわからないの割合が多いです。学校の説明不足の部分であるため、今後は、保護者会等で具体的に十分説明をしたり、情報発信・公開をする機会を増やしたりしてまいります。
- 「学校は、児童の健康・体力の増進に努めている。」は、あてはまる・あまりあてはまらないの割合をあわせると10%以上となります。また、わからないも含めると20%以上となります。今年度は、アスリートを外部講師として招聘し走り方教室・投げ方教室等を例年以上に実施してきました。また、マイスクールスポーツの縄跳びやペースランニングの強化週間を設定し、カード等を活用して休み時間や体育の時間等にも取り組んでまいりました。しかし、保護者には、取組が伝わっていないこと、アンケート後の取組だったことがこの結果の原因だと考えます。今後も活動を継続するとともに、保護者への説明・公開を積極的に行ってまいります。
- 「学校はコンピューターや図書室を十分活用している。」は、あてはまる・あまりあてはまらないの割合を合わせると10%ほど。わからないは、15%程度です。各教科で、タブレットや図書室を活用し、調べ学習を行っています。また、図書の時間を確保し、読書活動を行っていますが、例年、結果に変化が見られません。学校としての情報発信の不十分を課題とし、今まで以上に情報発信するとともに公開も行ってまいります。

3 今後の改善方策

- 児童が進んで学習に取り組めるよう個に応じた指導を充実させ、どの子も自分から進んで学習に取り組めるように授業改善を行ってまいります。また、児童個々の学習状況や教科の特性に応じて、学びの広がりや深まりのある学習に努めてまいります。
- 学習だけではなく、体力作りについても児童個々の状況や意欲を把握し、意欲的に取り組むことができるよう授業改善、場の工夫や個に応じた指導を行ってまいります。
- 様々な活動ができるようになり、友達とのかかわりも増えてきました。楽しくないと感じている子の原因を探り、どの子も楽しいと感じる学校づくりをしてまいります。
- 教職員は、受容的態度を心がけ、相談する時間の確保をするよう努め児童が相談しやすい状況をつくって参ります。また、定期的に学校生活アンケートや授業前・放課後等の時間を活用するなど、児童一人の課題は、学校全体の課題として、教職員全員で解決のために今後より一層取り組んでまいります。

* 3月末に各学校・幼稚園のホームページで公表していきます。